

NY マーケットレポート (2014 年 8 月 15 日)

2014/ 8/15 (金)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.54	102.57	102.46
EUR/JPY	137.13	137.08	136.89
GBP/JPY	171.03	171.20	170.96
AUD/JPY	95.61	95.69	95.44
EUR/USD	1.3377	1.3378	1.3359

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.62	102.49
EUR/JPY	137.35	137.09
GBP/JPY	171.30	170.00
AUD/JPY	95.69	95.59
EUR/USD	1.3392	1.3361

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15318.34	+3.77
ハンセン指数	24954.94	+153.58
上海総合	2226.73	+20.27
韓国総合指数	2063.22	+0.86
豪ASX200	5566.52	+18.05
インドSENSEX指数	26103.23	+184.28
シンガポールST指数	3314.77	+19.94

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6689.08	+3.82
仏CAC40	4174.36	-31.07
独DAX	9092.60	-132.50
ST欧州600	329.72	-1.32
西IBEX35指数	10222.20	-72.60
伊FTSE MIB指数	19480.96	-56.30
南ア 全株指数	51257.72	+183.82

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.35	102.72	102.15
EUR/JPY	137.10	137.62	136.77
GBP/JPY	170.86	171.46	170.44
AUD/JPY	95.41	95.69	95.03
NZD/JPY	86.88	87.28	86.67
EUR/USD	1.3397	1.3412	1.3377
AUD/USD	0.9323	0.9327	0.9298

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16662.91	-50.67
S&P500	1955.06	-0.12
NASDAQ	4464.93	+11.92
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15304.24	+13.06
ブラジルボルサ指数	44629.33	-163.69
ロシアモスクワ指数	56963.65	+1183.24

8/18 経済指標スケジュール

08:01 【英】8月ライトムーブ住宅価格
09:30 【シンガポール】7月電子機器輸出
16:30 【スウェーデン】7月輸出[除石油]
10:30 【豪】7月新車販売台数
17:30 【香港】7月失業率
18:00 【欧】6月貿易収支
21:30 【カナダ】6月国際証券取扱高
23:00 【米】8月NAHB住宅市場指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1306.20	-9.50
NY 原油	97.35	+1.77
CME コーン	377.00	+3.50
CBOT 大豆	1052.00	-4.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.41%	0.41%
3年債	0.87%	0.88%
5年債	1.54%	1.57%
7年債	1.99%	2.04%
10年債	2.34%	2.40%
30年債	3.14%	3.19%

8/18 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.58 ユーロ/円 137.33 ユーロ/ドル 1.3390

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6729.55	+44.29	ダウ INDEX FUTURE	16722	+40
仏 CAC40	4240.91	+35.48	S&P500 FUTURE	1957.70	+4.20
独 DAX	9300.05	+74.95	NASDAQ FUTURE	3980.00	+12.00

(出所: SBILM)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

8月ニューヨーク連銀製造業景気指数 14.69 (予想 20.00・前回 25.60)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《NY連銀製造業景気指数》

現状)

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
業況	14.69	25.60	19.28	19.01	1.29	5.61
仕入価格	27.27	25.00	17.20	19.78	22.45	21.18
販売価格	7.95	6.82	4.30	6.59	10.20	2.35
新規受注	14.14	18.77	18.36	10.44	-2.77	3.13
出荷	24.59	23.64	14.15	17.44	3.15	3.97
在庫	-14.77	-3.41	9.68	2.20	-3.06	7.06
雇用者数	13.64	17.05	10.75	20.88	8.16	5.88

6ヵ月先の見通し)

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
業況	42.76	28.47	39.84	43.96	38.23	33.21
仕入価格	42.05	37.50	36.56	31.87	33.67	43.53
販売価格	21.59	18.18	16.13	14.29	14.29	25.88
新規受注	50.44	25.57	44.52	36.71	32.69	36.02
出荷	54.48	24.56	45.15	33.80	38.83	35.17
在庫	9.09	-4.55	6.45	-1.10	3.06	1.18
雇用者数	22.73	17.05	20.43	17.58	22.45	17.65

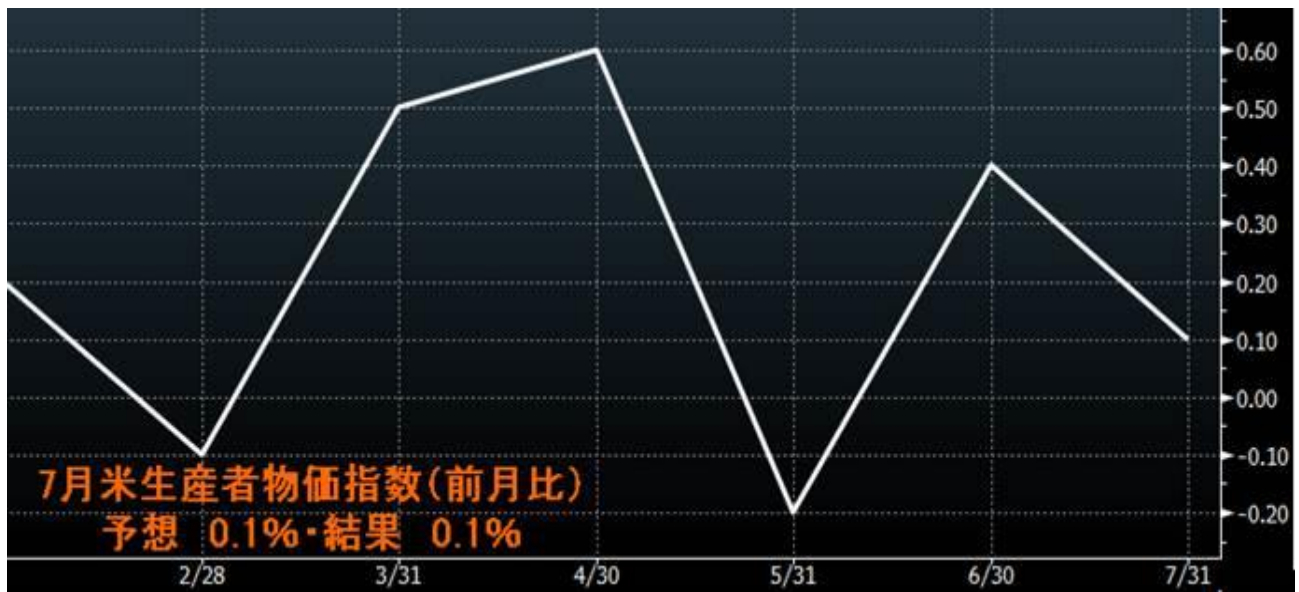
同指標はゼロが景況の分岐を示す

21:30

《経済指標の結果》

7月米生産者物価指数(前月比) 0.1%(予想 0.1%・前回 0.4%)

7月米生産者物価指数[コア] 0.2%(予想 0.2%・前回 0.2%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《生産者物価指数》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
完成品	0.1	0.4	-0.2	0.6	0.1	0.2
除く食品・エネルギー	0.2	0.1	0.0	0.3	-0.1	0.2
エネルギー全体	-0.6	2.1	-0.2	0.1	-0.6	-0.3
消費財	0.0	0.5	-0.2	0.6	0.1	0.2
サービス	0.1	0.3	-0.2	0.6	0.1	0.3

21:30

《経済指標の結果》

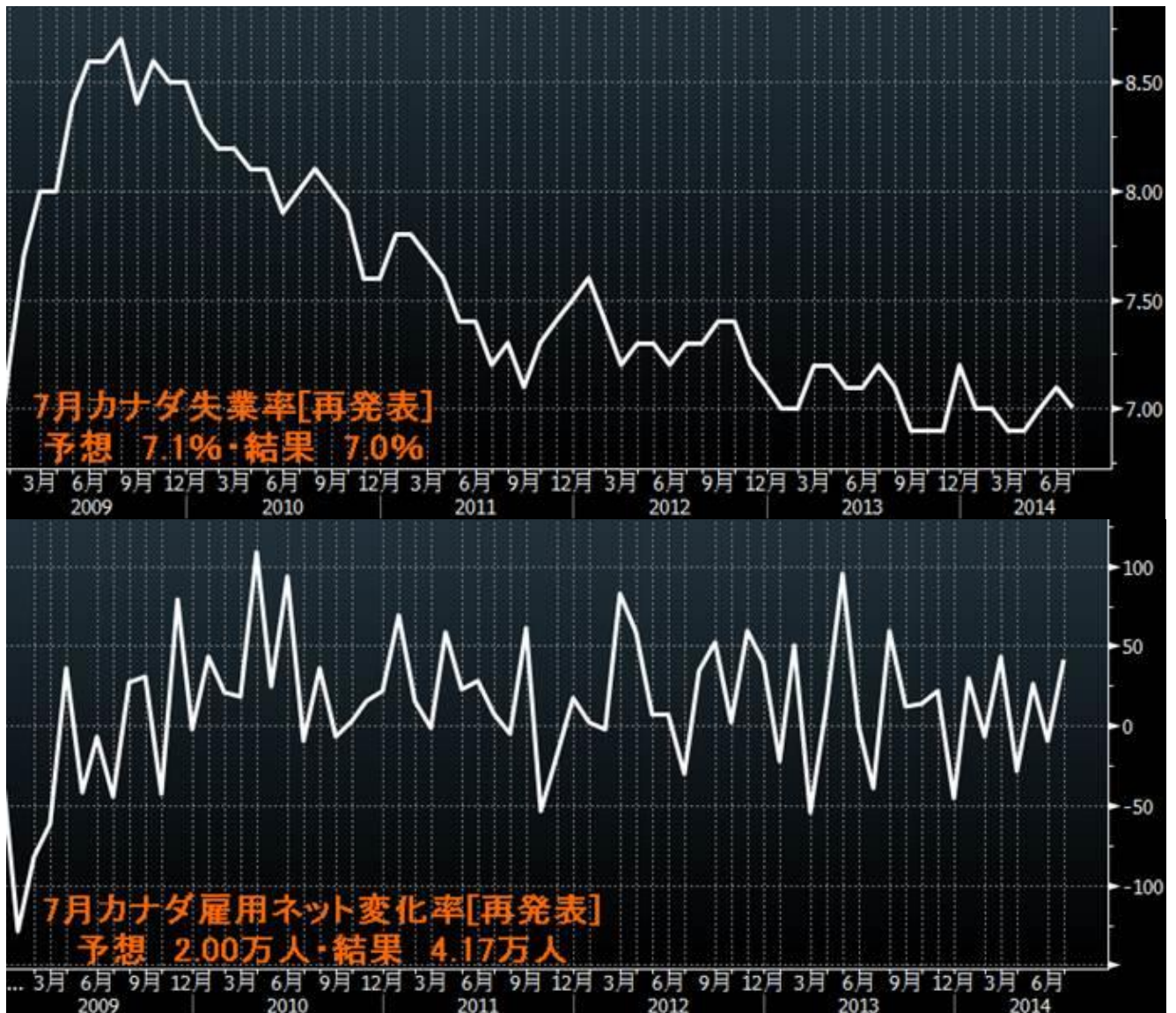
7月カナダ失業率[再発表] 7.0% (予想 7.1%・前回 7.1%)

7月カナダ雇用ネット変化率[再発表] 4.17万人 (予想 2.00万人・前回 -0.94万人)

7月カナダ労働参加率[再発表] 66.1% (予想 66.1%・前回 66.1%)

6月カナダ製造業出荷(前月比) 0.6% (予想 0.4%・前回 1.7%)

前回発表の1.6%から1.7%に修正



(出所:ブルームバーグ)



22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

6 月対米証券投資[ネット長期 TIC フロー] -187 億 USD (前回 194 億 USD)

6 月対米証券投資[ネット TIC フロー] -1535 億 USD (前回 331 億 USD)

前回発表の 355 億 USD から 331 億 USD に修正

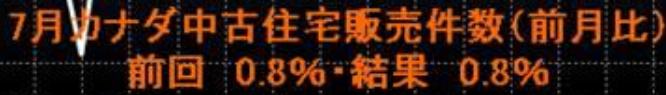




(出所:ブルームバーグ)

《 経済指標の結果 》

7月力ナダ中古住宅販売件数（前月比） 0.8%（前回 0.8%）



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 外国為替市場 序盤 》

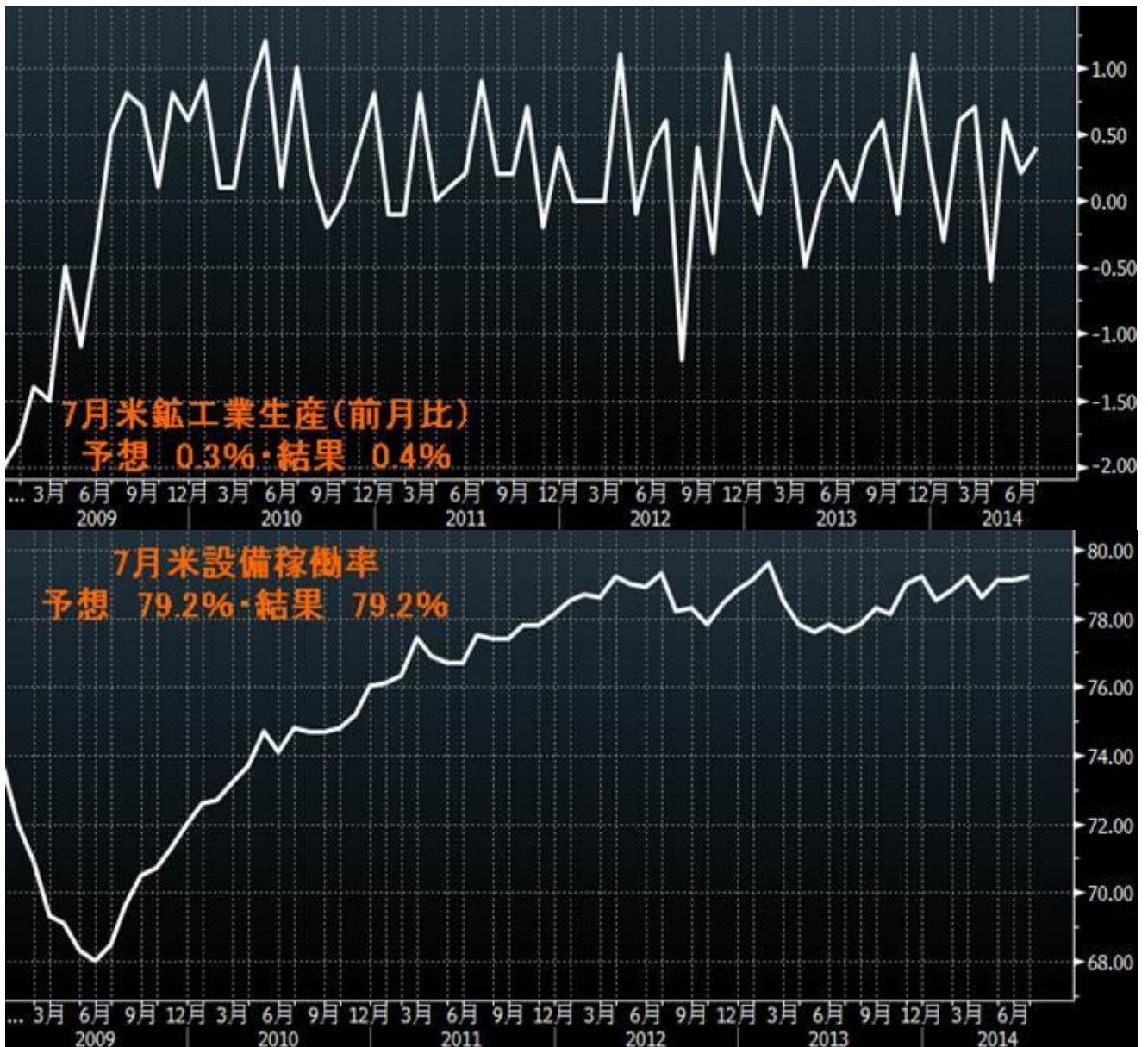
序盤の外国為替市場は、米卸売物価指数が2ヵ月連続で上昇し、物価が安定的に推移しているとの見方が広がり、米経済への先行き期待からドル買い円売りの動きが優勢となっている。

22 : 15

《 経済指標の結果 》

7月米鉱工業生産（前月比） 0.4%（予想 0.3%・前回 0.4%）
前回発表の0.2%から0.4%に修正

7月米設備稼働率 79.2%（予想 79.2%・前回 79.1%）



(出所:ブルームバーグ)

22 : 33

米主要株価

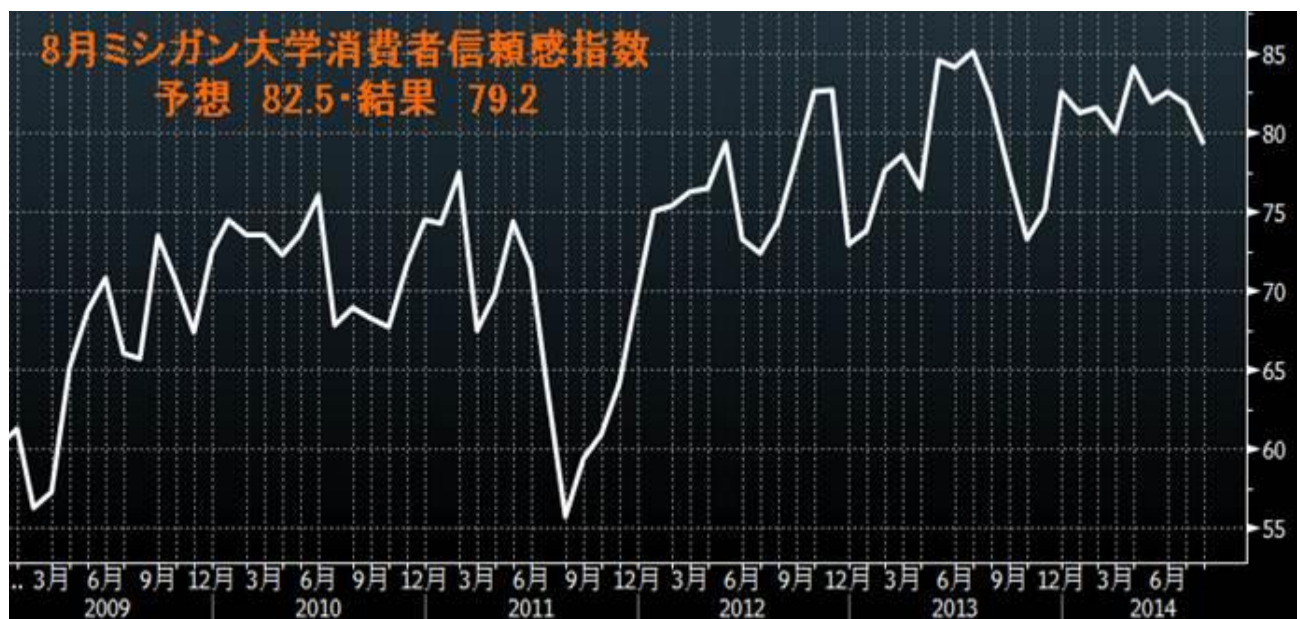
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16754.87	+41.29
ナスダック	4478.97	+25.97

(出所: SBILM)

22 : 55

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月ミシガン大学消費者信頼感指数 79.2 (予想 82.5・前回 81.8)



(出所: ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ ミシガン大学消費者信頼感指数 ▶

	8 月	7 月	6 月	5 月	4 月	3 月
消費者信頼感	79.2	81.8	82.5	81.9	84.1	80.0
景気現況指数	99.6	97.4	96.6	94.5	98.7	95.7
消費者期待指数	66.2	71.8	73.5	73.7	74.7	70.0
1 年インフレ	3.4	3.3	3.1	3.3	3.2	3.2
5 年インフレ	2.8	2.7	2.9	2.8	2.9	2.9

23 : 30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、7 月の米鉱工業生産指数が市場予想を上回ったことを受けて、米景気先行きへの期待感から主要株価は堅調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比 61 ドル高まで上昇する動きとなっている。個別銘柄では、米飲料メーカーの株式を取得すると発表したコカ・コーラが大幅上昇となっている。

23:50

＜ 要人発言 ＞

リシェンコ・ウクライナ報道官

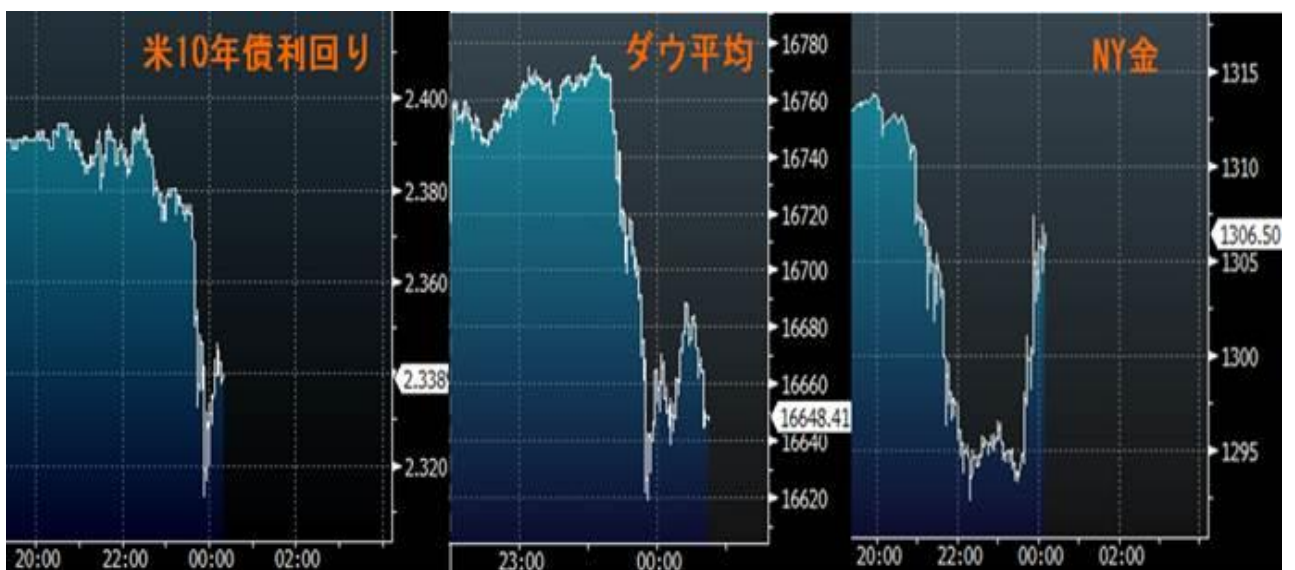
- ・「ウクライナ軍は、ロシアからの武装車両を攻撃」
- ・「ウクライナ軍は、武装車両の一部を破壊した」

ウクライナ政府軍は、親ロシア派武装組織が掌握する国境地域から夜間に入国したロシアの車両を攻撃したとアンドリー・リシェンコ報道官は記者団に話した。一部はロシアから発射されているという。



(出所: ネットダニアー)

投資家のリスク回避の動きが強まり、安全資産とされる円や、金、債券が買われる（利回り低下）動きとなり、株価やドル円・クロス円が下落する動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

23:50

＜ 要人発言 ＞

ミネアポリス連銀総裁

- ・「インフレ率は、2018 年まで 2%達成できない」
- ・「FOMC は、物価安定目標からは程遠い」

＜ 経済指標のポイント ＞

(1) ニューヨーク連銀製造業景況指数は 14.69 と、市場予想の 20.00 から低下（前月 25.6）となった。仕入れ価格指数は 27.27（前月 25.00）、出荷は 24.59（23.64）、週平均労働時間は 7.95（2.3）と前月から方上昇したものの、新規受注は 14.14（18.77）、雇用指数は 13.64（17.05）、在庫は-14.77（-3.4）に低下した。また、6 カ月先の見通しを示す期待指数は 46.76（前月 28.47）に上昇している。当該指数は、ゼロが景況の拡大と縮小の境目を示す。

(2) 7 月の米卸売物価指数は、市場予想と一致する前月比+0.1%となり、2 カ月連続のプラスとなった。前年同月比では+1.7%だった。サービス需要が伸びる一方、食品、エネルギーなどを含むモノの需要は横ばいとなり、上昇幅は抑制された。

①変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースの総合指数は、前月比+0.2%、食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースでも前月比+0.2%となった。モノは前月から横ばい、前年同月比では+2.0%となった。

②品目別では、食品が前月比+0.4%、牛肉、豚肉の上昇が続いた。エネルギー製品全体は-0.6%で、2013 年 11 月以来の大きな下落率となった。

③手数料や輸送コストなどのサービスは、前月比+0.1%。サービスのうち、トラック貨物輸送が+0.5%、貿易は服飾小売りなどが伸び+0.1%となった。サービスの前年同月比は+1.6%となった。

(3) 6 月の米国国際資本統計では、対米証券取引に伴う資本移動は、海外投資家からみて 1535 億ドルの売り越しとなり、米国からの資本流出を示した。売り越しは 3 カ月ぶりとなった。長期証券投資は 187 億ドル、米国証券は 184 億ドル、外国証券は 4 億ドルとそれぞれ売り越しだった。

①米国証券への投資の内訳は、民間が 446 億ドルの売り越し、公的部門が 263 億ドルの買い越しとなった。民間は米国債が 408 億ドル、政府機関債が 16 億ドル、社債が 33 億ドルの売り越しとなった一方、株式が 11 億ドルの買い越しだった。

②公的機関は米国債が 200 億ドル、政府機関債が 50 億ドル、株式は 15 億ドルの買い越しだった。一方で社債は 3 億ドルの売り越しだった。

③月末時点の国別の米国債保有残高は、中国で前月比-25 億ドルの 1 兆 2684 億ドル。日本は-6 億ドルの 1 兆 2195 億ドルだった。

(4) 7 月の米鉱工業生産は、前月比+0.4%と市場予想の+0.3%を上回り、6 カ月連続のプラスとなった。主力の自動車・部品が大きく上がったほか、機械や一次金属などが上昇したことが要因となった。景気回復を背景に、活発な生産活動が続いていることが示される結果となった。

①製造業が+1.0%と今年 2 月以来の大きな上昇率となり、鉱業は+0.3%、電力・ガスは-3.4%と前月に続きマイナスとなった。製造業では、自動車・同部品が+10.1%となったほか、一次金属が+1.0%、家具関連が+1.4%となった。

②設備稼働率は、市場の予想通り前月比 0.1 ポイント上昇の 79.2%となり、2008 年 6 月以来の高水準となった。

(5) 米 8 月ミシガン大学の消費者信頼感指数速報値は、79.2 とで 7 月の確報値から 2.6 ポイント低下し、2013 年 11 月以来 9 カ月ぶりの低水準となった。現状指数は 99.6 で 7 月確報値から 2.2 ポイント上昇し、2007 年 7 月以来、7 年 1 カ月ぶりの高水準となった。1 年後のインフレ期待は 3.4%で 7 月確報値から 0.1 ポイント上昇した。

0:30

EU は、東ウクライナ情勢への懸念を表明、さらなる措置を検討する用意。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6689.08	+3.82
仏 CAC40	4174.36	-31.07
独 DAX	9092.60	-132.50
ストック欧州 600 指数	329.72	-1.32
ユーロファースト 300 指数	1323.10	-6.04
スペイン IBEX35 指数	10222.20	-72.60
イタリア FTSE MIB 指数	19480.96	-56.30
南ア アフリカ全株指数	51257.72	+183.82

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。序盤から堅調な動きが続いたものの、終盤にはウクライナ情勢の緊張が再び高まっているとの報道を受けて地政学リスクが意識され主要株以下は軒並み下落となった。独 DAX は大幅安で引けたものの、英 FT100 は小幅高で引けた。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16592.69 (-120.89)、S&P500 1949.21 (-5.97) ナスダック 4425.58 (-24.42)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、ロシア軍が国境を越えてウクライナに侵入したと伝わったことから情勢悪化の懸念が強まり、安全資産とされる米 国債を逃避的に買う動きが広がった。ミシガン大消費者信頼感指数が市場予想を下回り、米国の低金利政策が当面続くとの見方が強まったことも支援材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.12% (前日 3.19%)、10 年債が 2.33% (2.40%)、7 年債が 1.97% (2.04%)、5 年債が 1.52% (1.57%)、3 年債が 0.85% (0.88%)、2 年債が 0.41% (0.41%)。

3 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 9.50 ドル安の 1 オンス = 1306.20 ドルで取引を終了した。

4 : 30

NY 原油は、中心限月が前日比 1.77 ドル高の 1 バレル = 97.35 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1306.20	-9.50
NY 原油	97.35	+1.77

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、7 月の米卸売物価指数が市場予想と一致したことで、インフレは依然抑制されているとの見方が広がり、インフレヘッジとしての金の需要が後退するとして売りが先行した。ただ、その後はロシア軍がウクライナ東部に侵入したと報道されたことで、情勢緊迫化を懸念した逃避買いも入った。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、ウクライナ軍が国境を越えて侵入したロシア軍の装甲兵員輸送車を破壊したと伝わったことで、ロシア原油の供給不安が広がり、買いが優勢となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16662.91	-50.67	16775.27	16575.42
S&P500 種	1955.06	-0.12	1964.04	1941.50
ナスダック	4464.93	+11.92	4482.47	4427.13

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、7月の米鉱工業生産指数が市場予想を上回ったことを受けて、米景気の先行きへの期待感から主要株価は堅調な動きとなった。しかし、ウクライナ軍とロシア軍が衝突したとの報道を受けて売りが優勢となった。ただ、引けにかけては下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比61ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、その後138ドル安まで下落したものの、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.35	102.72	102.15
EUR/JPY	137.10	137.62	136.77
GBP/JPY	170.86	171.46	170.44
AUD/JPY	95.41	95.69	95.03
NZD/JPY	86.88	87.28	86.67
EUR/USD	1.3397	1.3412	1.3377
AUD/USD	0.9323	0.9327	0.9298

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤の米経済指標がまずまずの結果となったことや、堅調な株価動向を背景に、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。しかし、その後ウクライナ情勢の緊張が再び高まっているとの報道を受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軒並み下落する動きとなった。そして、円が大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。